

なかつがわ



令和6年 中津川市議会 9月定例会

市の花 サラサドウダン

第10回 中津川市中学校 生徒会サミット



目次

議案	②
予算決算委員会報告	④
令和5年度決算認定	⑥
常任委員会報告	⑩
特別委員会報告	⑪
一般質問	⑫
編集後記他	⑯

トピックス

- 令和5年度の決算を認定しました(6ページ)
- 議員定数等特別委員会を設置しました(11ページ)
- 請願・陳情(15ページ)
- 生徒会サミットが開催され、市内の中学生が「魅力ある学校づくり～中津川の元気(体力)を学校から～」というテーマで発表してくれました(表紙・裏表紙)

決算	認第4号	令和5年度中津川市介護保険事業会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
	認第5号	令和5年度中津川市後期高齢者医療事業会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
	認第6号	令和5年度中津川市水道事業会計決算の認定について	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	認第7号	令和5年度中津川市下水道事業会計決算の認定について	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	認第8号	令和5年度中津川市病院事業会計決算の認定について	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)

総：総務企画委員会／文：文教民生委員会／産：産業建設委員会／予：予算決算委員会／議定：議定数等特別委員会

■指定管理者の指定について

指定期間	施設名	指定管理者
令和7年4月1日 ～令和12年 3月31日	中津川市障がい者就労支援事業所 さかした	社会福祉法人 中津川市社会福祉協議会
	中津川市障がい者就労支援事業所 かしも	
	中津川市障がい者就労支援事業所 ふくおか	
令和7年4月1日 ～令和10年 3月31日	中津川市付知デイサービスセンター	社会福祉法人 中津川市社会福祉協議会
	中津川市蛭川福祉センター	社会福祉法人 中津川市社会福祉協議会
	中津川市蛭川デイサービスセンター	
	中津川市蛭川ショートステイ事業所	
	中津川市坂下交流促進施設(道の駅きりら坂下)	

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派		中津川自民クラブ														議決結果							
	氏名		見	勝	岡	吉	吉	島	長	宮	林	小	田	糸	柳	松		木	中	田	見	牛	黒	無
令和6年度中津川市一般会計補正予算(第6号)	賛	賛	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	欠	賛	可決
令和6年度中津川市一般会計補正予算(第8号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
令和6年度中津川市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
中津川市国民健康保険条例の一部改正について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
工事の委託に関する協定の 変更について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	賛	賛	可決
令和5年度中津川市一般会計決算の認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	退	賛	認定
令和5年度中津川市国民健康保険事業会計決算の認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	退	賛	認定
令和5年度中津川市介護保険事業会計決算の認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	退	賛	認定
令和5年度中津川市後期高齢者医療事業会計決算の認定について	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	賛	退	賛	認定

*決算認定議案に対し、黒田とこ議員は監査委員のため自主的に退席しました。
*公明：市議会公明党、市民ク：市民クラブ、共産：日本共産党、9：中津川9の会、コ：地域コネク、ネ：市民ネット、無：無会派

9月定例会

議案の詳細につきましては、
市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果	
			付託委員会	審査結果		
報告	報第7号	専決処分の承認を求めることについて	—	—	承認(全会一致)	
	報第8号	健全化判断比率の報告について	—	—	—	
	報第9号	資金不足比率の報告について	—	—	—	
条例	議第64号	中津川市各種委員等給与条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第65号	中津川市税条例の一部改正について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第66号	中津川市病児保育所の設置等に関する条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第67号	中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第68号	中津川市国民健康保険条例の一部改正について	文	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)	
	議第92号	中津川市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
人事	議第69号	中津川市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	—	—	同意(全会一致)	
	議第70～79号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	—	可決(全会一致)	
その他	議第80号	財産の取得について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第81号	和解について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第82～84号	市道路線の認定について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第85号	市道路線の廃止について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第86～89号	指定管理者の指定について	文・産	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第93号	工事の委託に関する協定の変更について	産	可決(全会一致)	可決(賛成多数)	
	議第94号	和解及び損害賠償の額の決定について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	議第95号	和解について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
	補正予算	議第58号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第6号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
		議第59号	令和6年度中津川市一般会計補正予算(第7号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
議第60号		令和6年度中津川市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	予	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)	
議第61号		令和6年度中津川市駅前駐車場事業会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
議第62号		令和6年度中津川市介護保険事業会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
議第63号		令和6年度中津川市水道事業会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
議第91号		令和6年度中津川市一般会計補正予算(第8号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
請願	請願第3号	請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」	議定	継続審査(全会一致)	継続審査(全会一致)	
陳情	陳情第4号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書	総	—	—	
議会提案	議第90号	議員定数等特別委員会設置に関する決議について	—	—	可決(全会一致)	
決算	認第1号	令和5年度中津川市一般会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)	
	認第2号	令和5年度中津川市国民健康保険事業会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)	
	認第3号	令和5年度中津川市駅前駐車場事業会計決算の認定について	予	認定(全会一致)	認定(全会一致)	

総：総務企画委員会／文：文教民生委員会／産：産業建設委員会／予：予算決算委員会／議定：議定数等特別委員会

予算決算委員会報告

●寄附金を財源としての備品購入等……………297万3千円

- 教育講演会を実施(中津川市の未来を担う人材育成事業)……………973千円
- 中学校の備品を購入(中学校運営事業)……………1,000千円
- 元気づくり基金へ積み立て(交流事業)……………1,000千円

●緊急対応が必要な事業……………3,288万3千円

- リニアトンネル工事周辺の水量等を調査(公害対策事業)……………5,409千円
- 道の駅花街道付知駐車場に車止めを設置(観光施設管理事業)……………4,626千円
- 検査予算を増額【国民健康保険事業会計(直営診療施設勘定)】……………2,836千円
他6件

●過年度精算……………7億2,201万8千円

- 国・県支出金等過年度償還金【一般会計】……………154,784千円
- 国・県支出金等過年度償還金及び基金積立金【介護保険事業会計】……………567,234千円

■追加提出分(9月9日分)……………【一般会計】531万円

- 新福岡小学校建設事業の遅延に関する和解金等……………531万円
- 和解金(歳入:諸収入)……………7,784千円
- 賠償金(歳出:施設計画推進事業)……………5,310千円

令和6年度 市民と議会の対話集会(予定)

中津川市議会では毎年「市民と議会の対話集会」を開催しています。今年度は、常任委員会ごとに担当する範囲でテーマを決定し、関連する団体の方々々と懇談することになりました。いただいた意見をもとに課題や改善策を見つけ、行政へ政策提言または申入れを行います。

実施時期・内容

●総務企画委員会

- ▶開催日時・場所:令和6年11月6日(水) 苗木交流センター ホール
- ▶テーマ:「消防団員の減少による影響と対策について」
- ▶懇談先:市内13地区の消防団地区分団役員及び消防団本部役員

●文教民生委員会

- ▶開催日時・場所:令和6年11月14日(木) ひと・まちテラス 活動室101
- ▶テーマ:「誰でも気軽に集える図書館について」
- ▶懇談先:図書館ボランティア等

●産業建設委員会

- ▶開催日時・場所:令和6年11月7日(木) 苗木交流センター ホール
- ▶テーマ:「市内企業の労働者不足の課題と対策について」
- ▶懇談先:市内企業

「市議会だより なかつがわ」および市議会ホームページで報告します。

予算決算委員会報告(補正予算)

補正予算の詳細につきましては、市ホームページの9月補正【概要】をご覧ください。



9月補正予算の概要

<主な事業>

■8月13日専決……………【一般会計】4億2,999万9千円

- 豪雨により被災した施設等の復旧……………1億3,850万円
- 緊急対応が必要な事業……………2億9,149万9千円
- 定額減税補足給付金の予算を増額(定額減税補足給付金事業)……………190,000千円
- 坂本小・中学校の体育館を改修(小・中学校施設営繕事業)……………20,460千円
他3件

■初日(8月29日)議決

【一般会計】1億9,451万円

●緊急対応が必要な事業

- 神坂PAスマートインターチェンジ工事の予算を増額……………194,510千円

■補正を行う会計

【一般会計】6億9,172万1千円

【特別会計】国民健康保健事業会計(事業勘定)	306万9千円
国民健康保険事業会計(直営診療施設勘定)	283万6千円
駅前駐車場事業会計	60万4千円
介護保険事業会計	5億6,723万4千円

●市長公約である「ひとづくり」「地域づくり」「安心づくり」を推進する事業……………2,254万円

- 【拡充】子育て支援の充実(子育て支援事業)……………9,291千円
- 中心市街地のまちづくり議論を活発化(中心市街地活性化推進事業)……………3,164千円
- 観光案内所等の多言語対応を強化(観光推進事業)……………10,085千円

●国・県補助金を活用しての事業実施……………4億8,505万円

- 空き家の解体に補助金を交付(生活安全対策事業)……………3,000千円
- 児童扶養手当予算を増額(児童扶養手当事業)……………7,799千円
- 畜産農家等の経営を支援(畜産振興対策事業)……………2,163千円
- 馬籠宿の景観を整備(観光施設管理事業)……………13,000千円
- 倒木の危険のある立木を伐採(総合防災対策事業)……………3,696千円
- 小・中学校における児童生徒用の情報端末を更新(小・中学校運営事業)……………450,000千円
他3件

令和5年度 決算認定における所見

【定住推進部】

・自治会活動支援事業

自治会への加入世帯割合は年々減少し、令和5年度は71%となっています。区長さんだけでなく、組長さんのフォローも含め、加入者の負担軽減を図りながら、持続可能な地域の形を見つけることを期待します。

・中津川に住もうサポート事業

令和5年度の移住者は165世帯290名と前年比で減少したものの、40歳以下の転入転出口の差引がはじめてプラスに転じました。新婚さん住まいる応援事業を移住者支援から若者定住支援に切り替えたことで早速効果が見られたもので、引き続き若者の実情に寄り添った支援を期待します。

【市民福祉部】

・母子保健事業

産後1年未満の母子を対象とした産後ケア事業が、宿泊型・助産師が訪問するアウトリーチ型・施設に通所するデイケア型と、ニーズに応え周知が進み利用者が増えました。

・放課後児童クラブ運営事業

放課後児童クラブ利用児童の増加に対応するため、坂本・福岡（季節児童クラブ）地区に新設しました。

交付金により、物価高騰による保護者負担の増加を防ぎました。

引き続き市民のくらしを守る取組に尽力することを期待します。



▲新設された放課後児童クラブ

【市長公室】

・職員研修費

職員研修は、将来に向けた人材育成の投資です。

令和5年度は、これまで同様で階層別研修や実務研修が計画的に実施され、継続的な人材育成に取り組んでいることが確認できました。

今後、労働力人口が減少していく中、少子高齢化など中津川市が抱える課題は複雑多岐にわたりますが、市民のため、そしてそれを支える市役所づくりに向けて、職員一人ひとりの人材育成がこれまでに以上に図られることを期待します。

【政策推進部】

・ふるさとづくり寄附金事業

ふるさと納税は、返礼品にも恵まれる中で65,000件を超える寄附を集め、目標金額の10億円に迫る寄附を得られたことは、中津川の魅力発信を続けてきたことの結果と言えます。一方で納税制度の改正や、ポータルサイトへの使用料等の増加により、受取り額が予想を下回る結果額にもなりました。

今後もふるさと納税を活用したクラウドファンディングなど、様々な方法での財源確保をお願いします。



▲栗きんとん（返礼品）

【総務部】

・マスタープラン推進事業

令和5年度は未利用地の売却額は目標を上回っているものの、施設再編は件数・金額共に未達成となっています。課題が多い施設は関係者の理解を得るために多大な労力と時間を要しますが、財政負担の低減と自主財源確保には欠かせない事業です。見直された計画が予定通り実行される様をお願いします。

令和5年度決算を認定

一般会計歳入 513億3,090万円

⑥ その他・・・121億2,255万円
(預金利子や財産等貸付収入など)

⑤ 市債・・・40億7,042万円
(長期間使用される公共施設などを整備するための借入金)

④ 諸収入・・・16億6,505万円
(預金利子や財産等貸付収入など)



一般会計歳出 452億5,278万円

⑦ その他・・・72億6,602万円
(消防費、農林費、商工費など)

⑥ 公債費・・・39億6,236万円
(市債の返済にかかる経費。うち利子分約9,623万円を含む。)

⑤ 教育費・・・52億8,113万円
(教育環境の整備、スポーツ活動・文化活動の推進などの経費)

① 議会費・総務費・・・46億295万円
(議会の運営、広報、地域づくりの支援などの経費)

② 民生費・・・121億8,094万円
(子育て支援、障がい者・高齢者の福祉、医療給付などの経費)

③ 衛生費・・・57億3,565万円
(予防接種、がん検診、ごみ処理、し尿処理などの経費)

④ 土木費・・・62億2,373万円
(道路・橋梁の整備事業などの経費)

各会計の決算額

(単位：千円)

会計名	令和5年度決算額	令和4年度決算額	増減額
一般会計	45,252,781	43,086,471	2,166,310
国民健康保険事業会計(直診診療施設助定)	262,516	260,600	1,916
国民健康保険事業会計(事業助定)	6,542,082	6,704,092	▲162,010
駅前駐車場事業会計	17,327	17,150	177
介護保険事業会計	8,761,648	8,599,367	162,281
後期高齢者医療事業会計	1,262,676	1,201,739	60,937
水道事業会計	4,088,364	3,522,101	566,263
下水道事業会計	5,275,205	5,321,578	▲46,373
病院事業会計	10,954,934	11,731,149	▲776,215
計	82,417,533	80,444,247	1,973,286

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率・資金不足比率を公表するもので、中津川市の財政は健全かどうかを早期健全化基準と比較して判断します。

■健全化判断比率

(単位：%)

	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準	令和4年度	令和3年度
実質赤字比率	発生していません	12.14	20.00	発生していません	発生していません
連結実質赤字比率	発生していません	17.14	30.00	発生していません	発生していません
実質公債費比率	6.9	25.0	35.0	6.7	6.6
将来負担比率	発生していません	350.0	基準なし	発生していません	発生していません

※各基準を上回ると財政健全化計画を策定し、財政再建に取り組む必要があります。

・令和5年度決算における各比率は、すべて早期健全化基準を下回っており、財政状況は「健全」と言えます。
・実質公債費比率は6.9%で、令和4年度の比率6.7%と比較して0.2ポイント上がりました。主な要因は、令和2年度と比較し、元利償還金が2.0億円増額したこと、及び元利償還金に対する普通交付税算入額が3.4億円減額したことによるものです。

■資金不足比率

すべての会計において資金不足比率は発生していません。

令和5年度 決算認定における所見

【リニア都市政策部】

・リニア駅周辺土地区画整理事業

広域交通拠点となるリニア岐阜県駅前の基盤整備については、令和5年度までで27.4%が完了。移転建物補償も全48件中28件が完了し、いよいよ「どんな駅前にするのか」を決めなければなりません。

引き続き、地域住民との積極的な意見交換をしながら、生活環境の安全・安心と中津川市内外の発展を両立させるまちづくりの計画策定に全力を尽くすことを期待します。

【文化スポーツ部】

苗木城跡、明治座、常盤座、蛭子座、落合本陣をはじめ、中津川市には後世に伝えていきたい伝統文化が多くあります。

保存のためには、地域の方だけでは後継不足や修繕、維持に係る経費が大きな負担であり、課題です。

今後も行政として、中津川市の文化伝統を守るように期待します。

【農林部】

・土地改良整備事業

ため池等の整備や基盤整備などを着実に進めていただいた結果、耕作放棄地が5ha減の60haとなりました。災害防止のための修繕も含め、しっかりと手を入れ続けることを期待します。

・木材関連産業人材確保事業

子どもたちへの木育や、森と触れ合う機会創出などの取組を経て、結果的に新規林業従事者を5名確保できたことは、市民の暮らしを守る大事な一歩です。人材確保をすることで林産業を諦めずに守り抜いていただくことを期待します。

【建設部】

・道路新設改良事業

市民意識調査からもわかるように、道路・橋りょう・河川護岸等の新設・改良に対する取り組みが望まれています。緊急車両の通行や災害発生時の避難路の確保はもちろん、日々の渋滞緩和が期待されます。計画的・確実な事業の遂行をお願いします。

【商工観光部】

・中心市街地活性化推進事業

ひと・まちテラスがオープンし1年が経ちました。歩行者が大きく増えています。中心市街地のまちづくり計画が策定されいよいよこれからが大切な時期です。市民の満足度向上はもちろん、観光客を惹きつけるコンテンツで、にぎわい創出・中津川の魅力向上に確実な事業展開をお願いします。



▲ひと・まちテラス

令和5年度 決算認定における所見

【環境水道部】

・メモリアル施設建設事業

新火葬場の建設問題は、検討から15年が経過し、建設地の選定に大変苦慮している状況です。火葬場は最後のお別れの場として、市民生活にとって極めて重要な施設です。市長公約で「斎場老朽化問題の早期解決」を掲げています。建設候補地の選定を最優先し、スピード感と「必ず造る」と強い決意をもって進めていくことに期待します。



▲老朽化する現斎場

【消防本部】

・消防設備整備事業

計画的な更新も必要ですが、消防団については、団員の減少で持て余している車両やポンプの配置見直しなど、現有資産の有効活用も検討をお願いします。

・消防施設建設事業

消防団員確保の一環として、活動拠点となる器具庫へのエアコン設置など、団員の要望を取り入れた既存建屋の環境改善や、活動しやすい装備の充実が図られることを要望します。

【教育委員会】

・小学校建設事業

新福岡小学校の完成が遅れ、新校舎での授業開始が夏休み明けからとなり、児童・保護者・教職員等への混乱を招きました。本件の反省を踏まえ、今後の建設事業に取り組んで下さい。

・私立幼稚園事業他

共働き家庭が増え預かり保育利用者が増加しています。親子の負担が増える事の無いよう、利用者のニーズに応える保育園・子ども園・幼稚園事業をお願いします。

【病院事業部】

新型コロナウイルス感染症が5類になりました。中津川市民病院、坂下診療所とも本来の診療になりつつあった令和5年度ですが、経営状態は厳しい状況が続いています。

医師の確保に向けさらに尽力していただくとともに、市民が安心してかかることのできる病院内の環境整備、人材教育にも力を尽くしていただけるよう期待します。

三ない運動



有権者にも、政治家にも、
守ってほしい3つのルール

特別委員会報告

◆リニア中央新幹線対策特別委員会報告(中間報告) 8月5日

- 8月5日に開催された中津川市議会・恵那市議会リニア関連懇談会への提出資料について
執行部から報告があり、内容について確認しました。
- 当日(8月5日)開催された中津川中津川市議会・恵那市議会リニア関連懇談会の日程について確認をし、午後1時30分から恵那市役所にて懇談会を行いました。
・懇談会議題：両市特別委員会の過去1年間の経過報告、リニア中央新幹線に関する最近の動向
・現地視察：恵那市内の「山岡残土処分場」「三郷残土処分場」「武並リニア建設現場」
- 今後開催が予定される濃飛横断道三市・一村議会委員会合同会議、中津川市議会・南木曾町議会リニア特別委員会合同会議について確認しました。

議員定数等特別委員会の設置

9月定例会初日に「議員定数等特別委員会設置に関する決議」を提出し、議決され、委員を選任しました。

特別委員会	氏名	設置目的
議員定数等特別委員会	◎吉村 浩平 ○田口 文数 榊松 直子 岡崎 隆彦 木下 律子 島崎 保人 宮嶋 寿明	議員定数、議員報酬、費用弁償に関する調査研究を行うものとする。

◎=委員長、○=副委員長

中津川市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

中津川市選挙管理委員会委員及び補充員が決定となりました。

<委員>

おかもと てつり
岡本 哲典さん(新任)
いちおが きよし
市岡 清さん(新任)
たくち はるこ
田口 晴子さん(再任)
はら ともこ
原 友子さん(新任)

<補充員>

かつらがわ みなこ
桂川美奈子さん(新任)
かただ つよし
片田 毅さん(新任)
かわい たけお
河合 丈夫さん(新任)
もり しげこ
森 茂子さん(再任)

常任委員会報告

◆総務企画委員会(所管事務調査)(消防本部) 7月18日

- 消防活動の現状、課題及び今後について

現状・課題

近年、全国各地で起きている災害の大規模化と多様化に加え、少子高齢化の進行に伴う救急ニーズの高まりなど、消防を取り巻く環境は大きく変化しているのが現状です。

今後の対応

今後、更なる人口減少や少子高齢化、またリニア開業に向けて、人口動態・都市構造・生活価値観等に大きな変化が生じてくると予想しており、消防行政におきましても、各分野にわたり多様な対応が求められてくると考えます。

委員会のまとめ

市民の消防行政に対する期待と信頼に応えた安心安全なまちづくりのためには、消防力の充実強化と効率的な業務運営を推進していくことが重要と考えます。

◆文教民生委員会(所管事務調査)(文化スポーツ部) 7月11日

- 図書館機能を中心とした現状と更なる活用について

現状・課題

第二次中津川市立図書館サービス計画に基づき図書館を運営しています。「誰もが気軽に集える図書館」を基本理念に、読書推進活動、にぎわいの創出、ボランティアとの協働を重点施策とし進めています。

委員会のまとめ

今まで図書館に行ったことのない方に興味を示してもらい、また、常連の方の満足度を高め、市民参加のできる図書館を研究してまいります。

◆産業建設委員会(所管事務調査)(商工観光部) 7月10日

- 市内企業の労働者不足について

現状・課題

市内企業3、606の事業所では外国人労働者1、531人を含む34、264人の従業員が就労していますが、人口減少や若者の市外流出などの理由により労働者不足の状態が続いています。(有効求人倍率1.31倍：県内4位)

数年後、「リニア中央新幹線中部車両基地」の開業による地元雇用などで労働者不足は一層深刻になることが予測されるため早急な対策が必要と考えます。

委員会のまとめ

委員会協議会を開催するなかで、労働者不足の原因ともなっている若者の地元定着や潜在労働力の確保をはじめとする調査研究を行い執行部への政策提言につなげていきます。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は8人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。

映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



日本版DBSについて

田中 愛子

問

子ども性暴力防止法に盛り込まれた日本版DBSは、子どもに接する仕事に就く人に、不同意性交罪等の刑法犯や、痴漢・盗撮等の条例違反の有無を確認するものです。

①中津川市で対応を義務付けられる対象となる事業者・施設を教えてください。

②任意対応となっている放課後児童クラブ等でも導入すべきと考えますが所見を伺います。

答

①2026年(令和8年)度に施行予定の法律であるため、現段階で明確なことはお答えできません。なお、子ども家庭庁の資料では、小中学校、幼稚園、保育所、認定こども園、家庭的保育事業、小規模保育事業、児童館等が義務付けられる対象施設及び事業者となっています。

②子どもが教育、保育等の提供を受ける場合、業務に従事する者から性犯罪・性暴力の被害に遭うことがないよう、未然に防止するための仕組みづくりは大切であると考えられます。具体的には、ガイドライン等が示された後、対応を考えていきます。(教育委員会事務局長)



行政対象暴力への対応について

小池 菜摘

問

中津川市職員の心身の安全を保障する盤石な体制を作りたいと考えています。

①市職員を守るための新たな取り組みとして行なったことについて、伺います。

②危機管理部署を一本化するなど、しっかりと職員を守るための組織づくりを行うべきと考えます。見解を伺います。

答

①職員一人ひとりが一人で抱え込むのではなく、カスタマーハラスメント情報収集のためのデータベースの構築に向けた取り組みに着手しました。試行期間を経て令和6年度中の運用開始をめざして進めてまいります。

②庁内・庁外を問わず一元管理体制も含め、総務部、市民福祉部と協議を行い、より機能的で実効性の高い組織はどの姿になるのかを、令和6年度中の方針決定をめざし協議してまいります。(市長公室長)



市有財産(施設)運用管理マスタープランについて

牛田 敬一

問

①平成26年度の対象となる市有施設は市域全体で571施設、建物は1578棟、床面積の総計は約50万㎡です。(総務部長)

②市の玄関口として市内各地域への人の流れを作る拠点とすべきであると考えます。にぎわいプラザは建築後47年ほど経過し老朽化しているため、再度活用することは考えています。跡地を民間で活用することを想定した場合、市が建物を解体した方が活用の可能性を広げられると考えますが、用途や事業主体を検討する中で、合理性や効率性の視点で考えてまいります。(商工観光部長)

答

①令和6年4月1日現在の市有施設は、市域全体で571施設、建物は1578棟、床面積の総計は約50万㎡です。(総務部長)

②市の玄関口として市内各地域への人の流れを作る拠点とすべきであると考えます。にぎわいプラザは建築後47年ほど経過し老朽化しているため、再度活用することは考えています。跡地を民間で活用することを想定した場合、市が建物を解体した方が活用の可能性を広げられると考えますが、用途や事業主体を検討する中で、合理性や効率性の視点で考えてまいります。(商工観光部長)



1か月児及び、5歳児健診について

糸魚川 伸一

問

①現在当市において、大半の乳児が1か月児健診を受診しており、とてもニーズの高い健診であると考えます。当市において1か月児健診を進めるべきと考えます。見解を伺います。

②5歳児健診は、発達障害など心身の異常や育児上問題となる事項を早期に調べる非常に重要な健診です。市の健診実施で国が費用を助成する財政支援を示しています。これを機に当市でも5歳児健診を進めていくべきと考えます。見解を伺います。

答

①1か月児健診につきましては、令和7年度助成開始に向け、医療機関と調整を行っているところです。

②市では3歳児健診以降も就学までは発達相談や心理士が園訪問するさらさら相談にて必要な支援へとつなげることができると、現時点で実施の予定はありません。(市民福祉部長)



地域公共交通の現状と地域住民の移動手段の確保について

松崎 誠

問

少子高齢化による鉄道・バス・タクシー等の利用者減少が進む中で、中津川市の地域公共交通を取り巻く課題に対する、これまでの取り組みと今後について伺います。

①高校生バス通学定期購入補助の改正により、学生利用が増加した要因を伺います。

②路線バスでは、住民の利用減少を補うために観光地へのフリー乗車券を販売していますが、僅かな利用に留まっています。今後の利用者拡大に向けた取り組みを伺います。

答

①令和4年度から中津川市高等学校等バス通学費補助金の改正を行い、補助金が増額となったことで、定期券でのバス利用が増加したと捉えています。

②路線バス事業者をはじめ、中津川市観光局や担当課と連携し、新たな企画切符の開発・広報の強化に努めていくことで観光利用の拡大を図ってまいります。(定住推進部長)

請願書「中津川市議会議員定数削減に関する請願」

(全会一致 継続審査)

(1) 請願の要旨

中津川市の置かれた社会・経済環境は厳しく、少子高齢化と人口減少が進み行政改革は喫緊の課題となっています。中津川市議会におかれましては更なる議会改革として議員定数・議員報酬を見直し、議員定数を削減するよう請願いたします。

(2) 請願の理由

中津川市議会ならびに議員各位におかれましては、平素より中津川市民の生活・福祉の向上および安全・安心のまちづくりのために御尽力されていることに感謝申し上げます。

さて、激変する世界経済環境の下、人口構造の少子高齢化と人口減少は、財政構造に変化をもたらし、国をはじめ各地方自治体の行政改革を喫緊の課題として迫りました。中津川市においても合併後の健全財政確保が重要課題となり、その対応策推進に注力されてきました。

こうした状況の中、中津川市議会は議会改革として議会の立場から行政改革に取り組み、平成20年12月には「議員定数問題等特別委員会」の調査研究を経て、議員定数を6人削減し2人とする条例を可決し、平成23年4月の統一選挙から適用しました。この市議会の英断は、当時の中津川市民に広く支持されました。

その後、平成25年5月には中津川市議会議員定数条例の一部改正により、定数を21人とし、平成27年4月の統一選挙から適用し、現在に至っています。

以来11年、ロシアの軍事侵攻を発端とする資源価格の高騰、円安、物価高などは市民生活に大きく影響し、中津川市ならびに中津川市議会に対して更なる行政改革を求める声が高まっています。議員定数についても令和5年の市議会議員選挙において初の無投票となる事態に市民の見直しの声が高まりました。県下21市議会等の議員定数を参考にして、人口・面積、議員の報酬等を勘案し、改めて見直す時に来ています。

賢明なる市議会におかれましては、近々特別委員会を設置し、検討の俎上に載せられると聞き及んでいます。もちろん議員定数の削減は、議会自らが発議した中で条例により決定されるものでありますが、中津川市の自治体規模から見れば、議員一人ひとりの自覚と責任をもって議会運営をすすめるならば、議員定数の削減は可能であると考えます。中津川市の将来を展望する時「議員定数を考える市民の会」としては、議員定数の削減が望ましいと考え、市議会の大英断を期待して、強く請願するものです。

議員定数等特別委員会審査内容

「請願の内容につきましては、これからこの議員定数等特別委員会で調査研究をしていくので、議員の定数削減と議員報酬の見直しについての今回の請願に対しては継続審査が適切かと思えます。」という意見、また一部の意見では、「人口・面積で考えると議員数が多すぎるという状況にはないので定数を削減する必要はないが、議員報酬を見直すことは必要です。」というものもありました。審査の結果、全会一致、継続審査となりました。

陳情 「政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情書」

【陳情の理由】

議員が職務上の優位性(議員としての地位)を背景に、庁舎内で政党機関紙を勧誘する事は、そこに少なからず「心理的圧力が伴っている」現状があります。すなわち、職員に適正な業務の範囲を超えて精神的、経済的負担を与えるパワーハラスメント行為ではないでしょうか。

ハラスメント防止の重要な視点は、「受け手がどのように感じているか」という想像力と実態調査です。東郷町では、町長から職員へのハラスメントが問題になりましたが、町長(当時)は「受け手の感じ方が重要だ」と考え、全職員にアンケート調査の実施に踏み切った結果、その調査をもとに適切な判断をすることができました。

貴議会に対しては、以前「政党機関紙(赤旗)の市庁舎内での勧誘・購読・配達を自粛する事に関する陳情」の提出がされて、「議員は、陳情書にあったように市庁舎内での勧誘・配達を自粛することが望ましい」と考えます。議員の対応は、執行部で検討いただくことを申し入れます。」とあります。議員による職員に対するハラスメント行為は絶対に放置してはなりません。2020年6月にパワハラ防止法(改正労働施策総合推進法)が施行され、地方公務員が保護の対象となりました。自治体として「パワハラ防止条例」を制定した事例も56にのぼります。貴議会においては、職員から相談がないといつて問題を放置するのではなく、政党機関紙の勧誘行為に対して心理的圧力を感じている職員がいなか現状把握に努めてください。もしくは「庁舎内では政党機関紙の営業行為を認めず、勧誘の実態が一切ない」事を行政と確認してください。

【陳情項目】

職員が庁舎内で政党機関紙を勧誘されたり、購読する事で、心理的な圧力を感じたという実態が本当でないかどうかを、職員に寄り添って調査・確認するように行政に求めてください。仮に心理的圧力を受けた職員がおられた場合には、適切に対応してください。

総務企画委員会審査内容

執行部の所見によりますと、庁舎内での議員による政党機関紙の勧誘行為等は行われておらず、ハラスメントに関する申し出や相談を受けていないということから、調査・確認をする必要はないと考えます。しかし、今後、そういう事が無いとは限らず、政党機関紙の勧誘行為等に限らないハラスメント相談体制を、より一層、周知徹底していただくよう執行部に申し入れます。また、議会改革特別委員会では、現在、中津川市議会ハラスメント防止条例の制定に取り組んでおり、議員のハラスメント防止につとめて参ります。

「中津川市医療需要検証プロジェクトチーム」の設置について

木下 律子

問

①どんなチームですか。
②なぜ必要ですか。
市民病院は医師を確保し、急性期医療に力を入れることができるように、坂下診療所は民営化することによって、医師の確保も財政的にも今より余裕ができ、市民病院に集中して取り組むことができると思います。
③病院事業部が進めてきた取り組みを中断することなく連携して進めていただきたい。市長の見解を伺います。

答

庁内の関係するそれぞれの立場から中津川市の医療需要を検証するチームであり、現在ある医療政策に係る諸課題の課題解決に向け改めて検証する必要があると考え設置したものです。
市民の皆さまが安心して暮らせるよう、中津川市全体の医療提供体制を整えることが必要であり、全庁的に連携して進めてまいります。
(市長公室長・市長)



文化財・伝統文化の保護・継承について

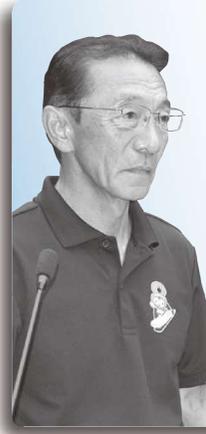
林 友義

問

少子高齢化に伴う人口減少等により、民俗文化財や地域の伝統文化を後世に継承していくことが困難となり懸念されています。
①地域で活躍されている継承者や指導者などを市が認定、表彰する制度の創設について、市の見解を伺います。
②地域に長きに渡り伝えられる貴重な財産を後世に継承し保存していくためには「文化財保存活用地域計画」の策定が必要だと思いますが、市の見解を伺います。

答

①長年活躍、活動されている方に対しては、県や市の表彰制度にて顕彰しています。継承者や指導者などを認定する制度はありませんが、引き続き支援をしてまいります。
②文化財保存活用地域計画は、課題解決のために重要と認識していますが、現在、苗木城跡や落合宿本陣は保存活用計画が策定されており、計画の中で保存や活用を進めています。今後も国の指導や方針、他の自治体の状況も注視していきます。
(文化スポーツ部長)



「東海地震に係る地震防災対策強化地域」中津川市の防災・災害時の対応について

黒田 ころ

問

市役所本庁・消防署の建物が老朽化しています。河川のそばにあり、また市役所の非常電源は地下にあります。危機管理面から対策が必要です。
①消防署の建物の耐用年数の残りはあとのくらいいですか。
②市役所・消防署などは、ヘリポートが共有でき、河川から離れ、また土砂災害の心配のない場所に移転する計画が必要だと思いますが、どのように考えますか。

答

①中消防署は建築後49年が経過します。法定耐用年数は50年ですので計算上はあと1年になりますが、建物自体の耐用年数ではないので、実際の状態を調査するため本庁舎のコンクリート診断の実施に併せて調査を行う予定です。
②市役所・消防署は老朽化しており、近い将来には建替えが必要で、場所を選定する際には、災害リスクの少ない、安全性を考慮する必要があります。
(市長)



第10回中津川市中学校生徒会サミット

魅力ある学校づくり
～中津川の元気（体力）を学校から～

Aグループ(坂本中・落合中・加子母中・福岡中)のテーマ【体力向上】

 <p>坂本中学校</p> <p>全校レク、体力向上カードを作成して、皆で体を動かす！</p>	 <p>昼休みの体育館開放、落合散歩ロードで地域の方と！</p> <p>落合中学校</p>	 <p>縦割り運動、ロング昼休みなど自治的に活動！</p> <p>加子母中学校</p>	 <p>明日も来なくなる学校、廃校を生かした運動機会提供！</p> <p>福岡中学校</p>
---	---	--	--

Bグループ(第一中・苗木中・神坂中・坂下中)のテーマ【体力向上】

 <p>体育祭で披露する集団行動、放課後に全校ランニングタイム！</p> <p>第一中学校</p>	 <p>当たり前のことが当たり前のできる学校をダンスから！</p> <p>苗木中学校</p>	 <p>パラスポーツの魅力を発信！車いす競技の紹介</p> <p>神坂中学校</p>	 <p>ドッジボール、ドロ警など楽しみながら体力向上に取り組む！</p> <p>坂下中学校</p>
---	--	---	---

Cグループ(第二中・阿木中・付知中・蛭川中)のテーマ【学校課題克服】

 <p>中津川市中学生人権宣言、生徒会議会の定期開催！</p> <p>第二中学校</p>	 <p>不登校の少ない学校の魅力、みんなで学ぶ風土！</p> <p>阿木中学校</p>	 <p>誰もが来なくなる学校づくり七夕祭、誰もが輝く機会！</p> <p>付知中学校</p>	 <p>挑戦心、地域とのつながりを大切にしたい学校づくり！</p> <p>蛭川中学校</p>
--	---	---	--

議会開催状況 6月28日～10月3日

本会議	(6回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(2回)
産業建設委員会	(2回)
予算決算委員会	(6回)
議会運営委員会	(8回)
リニア中央新幹線対策特別委員会	(1回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(3回)
議員定数等特別委員会	(1回)
議員連絡協議会	(2回)

令和6年12月定例会の日程

11月28日(木)	10時	本会議(初日)
12月9日(月)	10時	一般質問
12月10日(火)	10時	一般質問
12月12日(木)	10時	総務企画委員会
12月13日(金)	10時	文教民生委員会
12月16日(月)	10時	産業建設委員会
12月17日(火)	10時	予算決算委員会
12月23日(月)	10時	本会議(最終日)

編集後記

9月定例会において、議員定数等を検討するため、新たに「議員定数等特別委員会」が立ち上がり、活動が始動しました。市議会だよりではこのような新たな動きも含め、より皆さまにわかりやすい情報を提供できるよう編集委員会一同努力してまいります。

